

## 「滋賀の宮村」 復刻版完成

●甲南第三地域市民センター



▲「滋賀の宮村」復刻版と現代語訳版

宮地区自治振興会は、「滋賀の宮村」に学ぶ事業の一環として、昭和7年に刊行された「滋賀の宮村」を復刻出版しました。「滋賀の宮村」は、昭和初頭の恐慌による農村不況の中、全国の経済更生運動の先駆けとなった郷土「宮村」の歴史を今に伝える貴重なものです。先人たちの偉業を後世に伝えるとともに、将来に向けたまちづくりの生かし、地域に活力を取り戻したいとの思いから出版されました。現代語訳版も併せて作成し、2冊をセットで全戸に配布。11月30日には「復刻版出版記念講演会」が開催されました。セット1500円で販売中です。

# 地域市民センター 東西 南北

## 防災は「意識すること ・備えること」

●油日地域市民センター



▲起震車体験学習

油日自治振興会では初めての取り組みとなる防災事業を10月19日に実施しました。この事業は一人ひとりが防災意識を高めるために計画され、起震車体験学習のほか消防車の展示、水を使つての消火訓練、防災クイズなど参加者自らが体験する研修となりました。また、東日本大震災で被災され、現在滋賀県で避難生活を送られている高野正巳さんを講師に迎えた講演会では、被災地の状況を写真で紹介し、被災経験時の話を交えながら、自助・共助の大切さを語られていました。参加者は日頃の備えの必要性や、防災について考えるよい機会となりました。

## 気持ちを合わせ80m長巻き寿司成功 伴谷地区文化祭

●伴谷地域市民センター

11月4日、伴谷地区文化祭の会場では、マスクに手袋姿の長い人の列ができました。文化祭の恒例行事となった長巻き寿司に集まった人は総勢250人。平成23年には60m、平成24年には70mと記録を伸ばし、今年は80mを目標に企画。準備された整理券もあつという間に完了しました。進行役の掛け声にみんなの気持ちを合わせ、途中で切れてしまわないよう30分をかけ完成しました。長さに劣らぬおいしい巻き寿司を手に、秋晴れの文化祭を堪能されてきました。



▲80mの長巻き寿司に挑戦する参加者

# あらゆる災害に備えて 甲賀市総合防災訓練

市総合防災訓練を11月16日、かふか生涯学習館で実施しました。

地域の方々、消防団や常備消防など関係者約430名が参加され、災害図上訓練(DIG)、シェイクアウト(地震防災訓練)のほか、火災防ぎょ訓練や応急処置研修などを行い、防災意識や防災力の向上、防災関係機関等の相互連携の強化を図りました。

## 地域防災力向上にむけ災害図上訓練(DIG)を実施

市内には土砂災害危険箇所が多数存在します。今回は、甲賀地域の23区・自治会を対象に、風水害を想定した災害図上訓練(DIG)を実施しました。訓練では、各区・自治会の代表者が、それぞれの地域の地図を囲み、防災マップをもとに危険予知を行うとともに、避難経路、避難場所などを書き加え、災害に強い地域作りのための課題を知る機会となりました。



【シェイクアウト】

地震発生時に瞬時に身を守る基本的な行動を身に付ける訓練



【展示・啓発コーナー】

会場内では防災関係機関などによるパネル展示や甲賀市消防団女性消防隊によるAED使用方法の実演なども



【炊き出し訓練】

赤十字奉仕団によるおにぎりの炊き出し訓練



【災害図上訓練(DIG)】

地図に危険箇所や避難所など、災害時救援に関する施設などの書き込みを加え、地域の課題を明らかに



【火災防ぎょ訓練】

取り残された数名が屋上で救助を求め、6名の安否不明者があるとの想定で、消防署・消防団の連携により消火・救助訓練を実施